

報道関係各位

平成27年1月21日

東京医科歯科大学

文部科学省選定 課題解決型高度医療人材養成プログラム

健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム

5大学共同キックオフシンポジウム

東京医科歯科大学にて1月23日（金）に開催

この度、東京医科歯科大学は文部科学省選定 課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム キックオフシンポジウム」を開催いたしますのでご案内致します。

本シンポジウムは、歯学教育分野で先導的な役割を果たして来た5大学（東京医科歯科大学、東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学）が連携して、合同でその取り組みを発信し、健康長寿社会を達成するための、広く建設的な議論の機会を提供することを目的としております。

どなたでもご参加頂ける公開シンポジウムとなっておりますので、多くの皆様にご参加賜りますようお願い申し上げます。

## 【シンポジウム開催概要】

タイトル：文部科学省選定 課題解決型高度医療人材養成プログラム

「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム キックオフシンポジウム」

日時： 2015年1月23日（金）13:30から17:00

会場： 東京医科歯科大学 歯科棟南 特別講堂（歯学部附属病院4階）

事前登録： 不要

参加費： 無料

対象： どなたでもご参加頂けます（定員173名）

共同開催：5大学（東京医科歯科大学、東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学）

健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム 事業推進委員会

## 開催趣旨：

文部科学省選定事業である健康長寿を育む歯学教育コンソーシアムは、歯学教育分野で先導的な役割を果たしてきた5大学が各大学の強みである教育資源を共有・補完することにより、健康長寿を育む為のあらゆるライフステージに対応した全人的歯科医療を担う歯科医療人材養成を実現することを目指しています。

本シンポジウムでは事業の概要及び各大学の取り組みを紹介すると共に、基調講演として東京大学高齢社会総合研究機構の辻先生にご講演いただきます。また、超高齢社会における課題に対する歯科の果たすべき役割とは、課題を踏まえた上での今後の教育の目指すべき方向性、教育の発展により一般社会にどのようなことを還元することができるのか、の3つのテーマを中心にパネルディスカッションを行い、健康長寿社会を達成するための広く建設的な議論の開会を提供することを目的としております。

## 【当シンポジウムに関する問い合わせ先】

(代表校) 東京医科歯科大学  
東京都文京区湯島 1-5-45  
東京医科歯科大学歯学部・歯学部附属病院 総務課歯学系教務掛 加来、金田  
TEL: 03(5803)5411 FAX: 03(5803)0398


## 【本プレス通知および取材に関する問い合わせ先】

国立大学法人東京医科歯科大学広報部広報課企画掛 佐藤、深堀  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
TEL: 03(5803)5011 / FAX: 03(5803)0272  
E-mail: kouhou.adm@tmd.ac.jp

# 健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム



文部科学省選定  
課題解決型高度医療人材養成プログラム



## 健康長寿を育む 歯学教育コンソーシアム キックオフシンポジウム

2015年1月23日（金） 13:30~17:00

東京医科歯科大学 歯科棟南4階 特別講堂  
(歯学部附属病院 4階)



入場無料  
参加登録不要  
(どなたでも  
ご参加頂けます)

キックオフシンポジウム HP  
[http://www.tmd.ac.jp/koudoiryou\\_dent/event/kickoff/kickoff.html](http://www.tmd.ac.jp/koudoiryou_dent/event/kickoff/kickoff.html)

### 基調講演 辻 哲夫 先生



#### <ご略歴>

1971年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官（医療保険、健康政策担当）、官房長、保険局長、厚生労働事務次官を経て、2008年4月から田園調布学園大学 教授、2009年4月から東京大学高齢社会総合研究機構 教授を務める。現在、東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授。厚生労働省在任中に医療制度改革に携わった。編著書として、「日本の医療制度改革がめざすもの」（時事通信社）「超高齢社会 日本の挑戦」（時評社）「地域包括ケアのすすめ 在宅医療推進のための多職種連携の試み」（東京大学出版会）等がある。

文部科学省選定事業である本コンソーシアムは、歯学教育分野で先導的な役割を果たしてきた5大学が各大学の強みである教育資源を共有・補完することにより、健康長寿を育む為のあらゆるライフステージに対応した全人的歯科医療を担う人材養成を実現することを目指しています。

本シンポジウムでは事業の概要及び各大学の取り組みを紹介すると共に、基調講演として東京大学高齢社会総合研究機構の辻先生にご講演いただき、健康長寿を達成するための議論の機会を提供します。

### プログラム

全体司会：東京医科歯科大学 演 洋平（高齢者歯科学 特任助教）

1. 開会の辞 13:30~13:40  
東京医科歯科大学 学長 吉澤 靖之
2. 「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の概要、目的説明 13:40~14:00  
文部科学省高等教育局医学教育課 課長補佐 島居 剛志
3. 基調講演 座長 日本歯科大学 生命歯学部 長 羽村 章 14:00~14:40  
「食べる」ことへの学際的アプローチの重要性：  
～今、改めて歯科界に求めること～  
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫
4. 「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム」の概要、目的説明 14:40~14:55  
東京医科歯科大学 歯学部長 森山 啓司（事業責任者）  
休憩 14:55~15:05
5. 連携大学のプログラム 特色及び具体的な取り組み 15:05~16:20  
東京医科歯科大学 副学部長 水口俊介（高齢者歯科学 教授）  
東北大学 歯学部長 佐々木啓一（口腔システム補綴学 教授）  
新潟大学 歯学部長 前田健康（口腔解剖学 教授）  
東京歯科大学 教務副部長 平田創一郎（社会歯科学 教授）  
日本歯科大学 生命歯学部 長 羽村 章（高齢者歯科学 教授）
6. パネルディスカッション 16:20~16:55
7. 閉会の辞 16:55~17:00